

## ブラジルの政策金利の引き下げについて

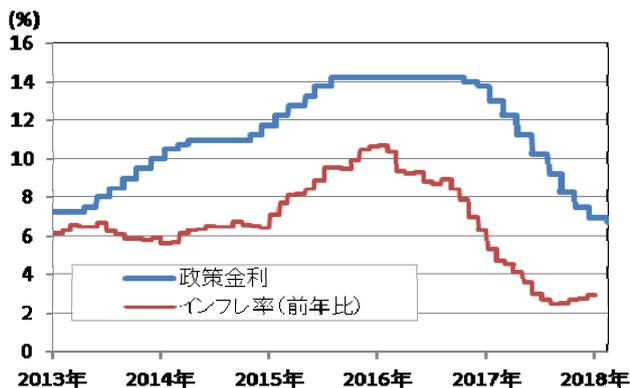
2018年2月7日（現地時間）、ブラジル中央銀行は、COPOM（金融政策委員会）において、Selic（政策金利）を0.25%引き下げ、年率6.75%とすることを決定しました。

内容は市場の事前予想通りで、前回12月の0.50%の引き下げ幅を更に縮小するものとなりました。中央銀行は従前より段階的に金融緩和ペースを落としていくことを示唆しており、今回の会合では、国内景気の回復基調やインフレ率の動向などが中央銀行のシナリオに沿って推移していると判断された模様です。

中央銀行の声明では、足元の金融市場の不安定な動きにもかかわらず、世界経済の状況は良好であるとし、次回の会合では政策金利を据え置く可能性を示唆しています。政策金利が過去最低水準に達し、インフレ率が中央銀行の目標水準に向けて緩やかに上昇しつつあることを踏まえ、金融緩和サイクルの終了が検討されたものと思われます。

一方で、中央銀行はリスクバランスなどが変化すれば、柔軟に金融政策を調整していく方針であることも表明しています。政治面では大統領選挙を控えていることや、社会保障など構造改革の進展に不透明感があり、これらが景気や物価へ与える影響なども慎重に考慮しながら金融政策を運営していくものと思われます。

ブラジルの政策金利とインフレ率の推移  
 (2013年1月1日~2018年2月7日)



ブラジルの政策金利と変化幅

日付	政策金利 (%)	変化幅 (%)
2017年7月26日	9.25	-1.00
2017年9月6日	8.25	-1.00
2017年10月25日	7.50	-0.75
2017年12月6日	7.00	-0.50
2018年2月7日	6.75	-0.25

\* 政策金利: Selic を使用。

\* 出所: ブラジル中央銀行、ブルームバーグのデータよりBNPパリバ・アセットマネジメント株式会社作成

### 本資料のお取り扱いにおけるご注意

- 本資料はBNPパリバ・アセットマネジメント株式会社が上記の時点で作成したものです。特定の金融商品の取得勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。
- 本資料中の情報は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。